

居宅介護支援事業所の水害対策に関するアンケート(速報結果)

■アンケート概要

対象者:区内居宅介護支援事業所

送付数:部会会員 174 事業所・非会員 20 事業所 計 194 事業所

有効回答数:100 事業所(回収率:51.5%)

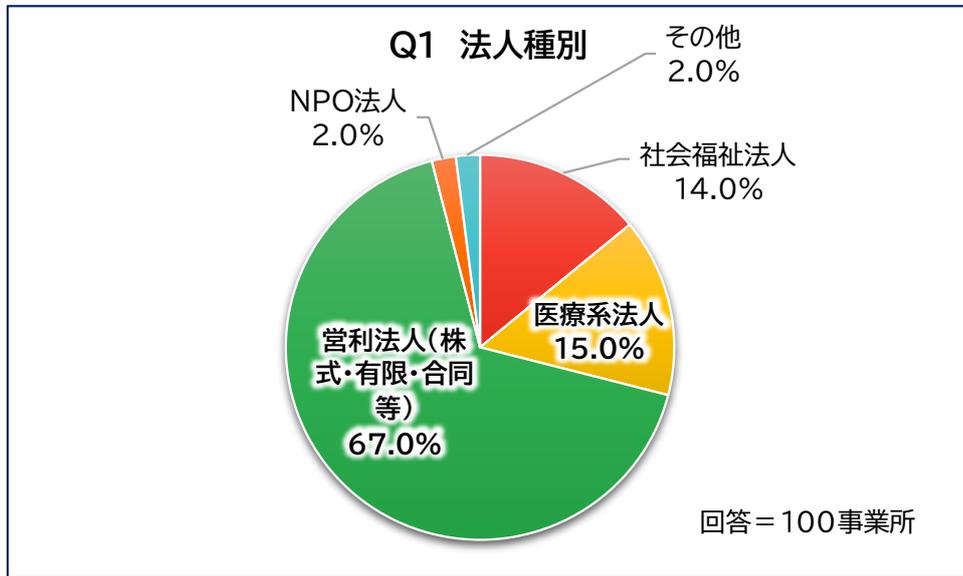
期間:令和5年1月11日~1月25日

方法:Google フォームによる回答

■回答集計結果

1 基本情報

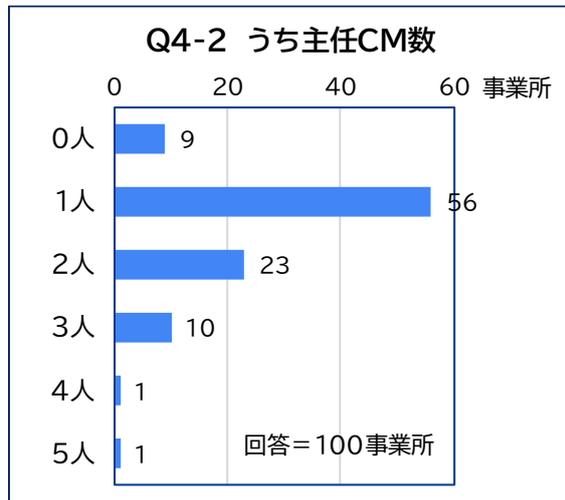
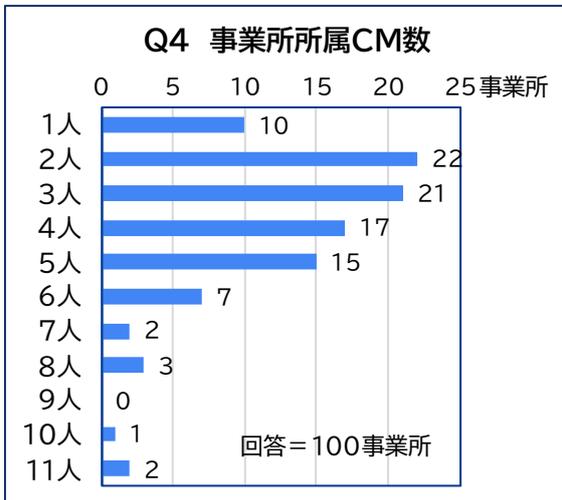
Q1 法人種別をお答えください



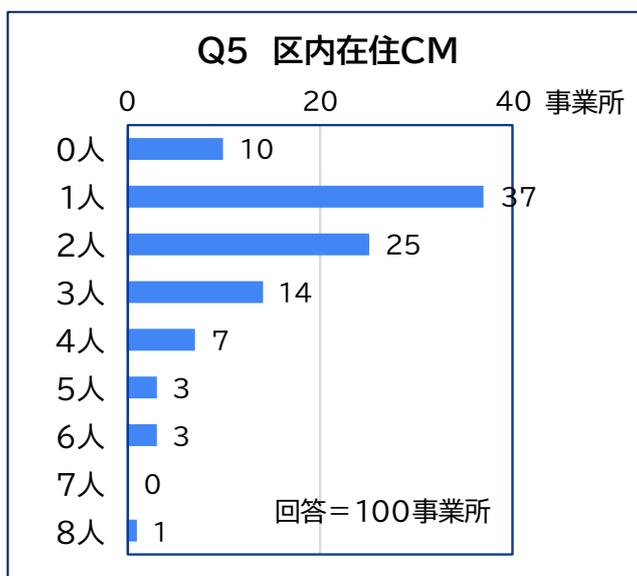
※Q2(事業所名)・Q3(事業所番号) 集計対象外

Q4 事業所所属の介護支援専門員数は何人ですか。(兼務の方も含みます)

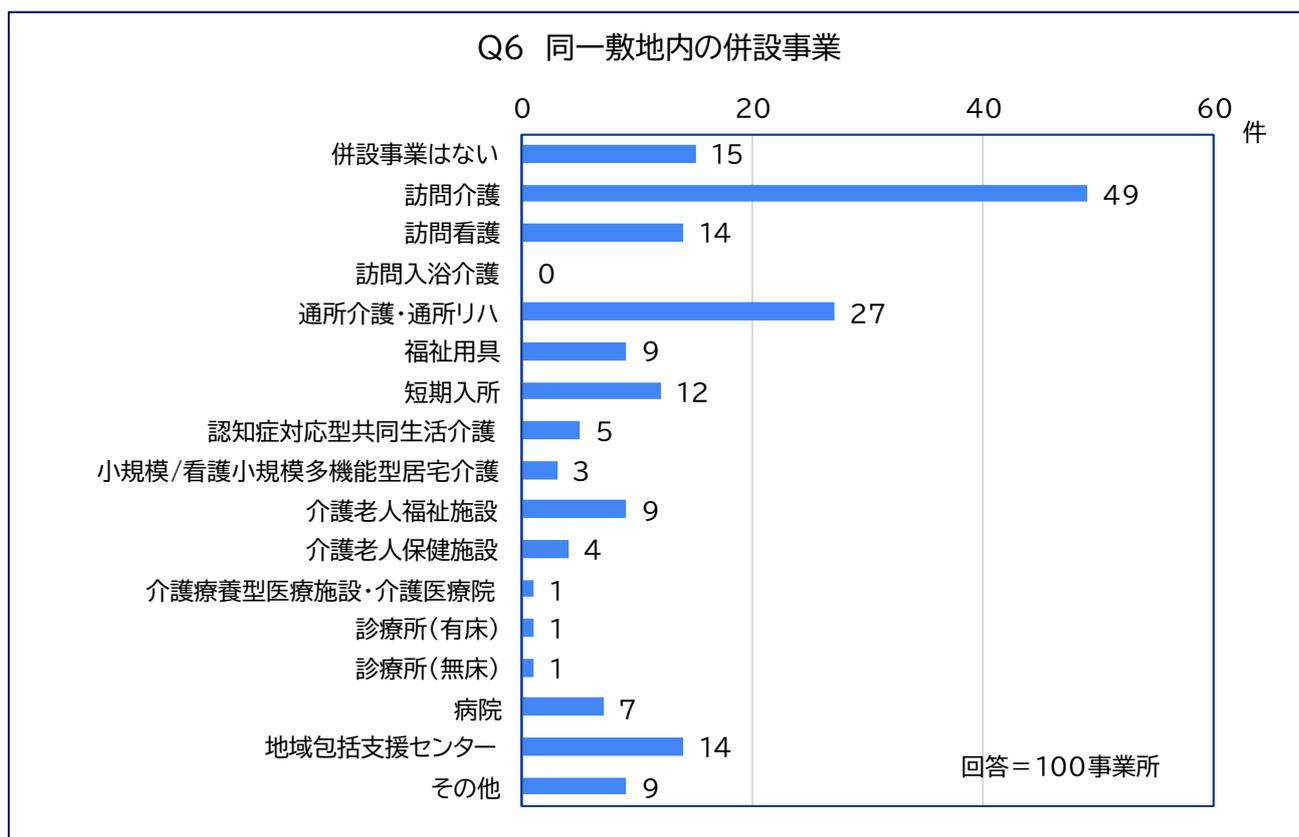
Q4-2 そのうち、主任介護支援専門員は何人ですか。



Q5 所属の介護支援専門員(主任介護支援専門員を含む)のうち、足立区在住の方は何人ですか。



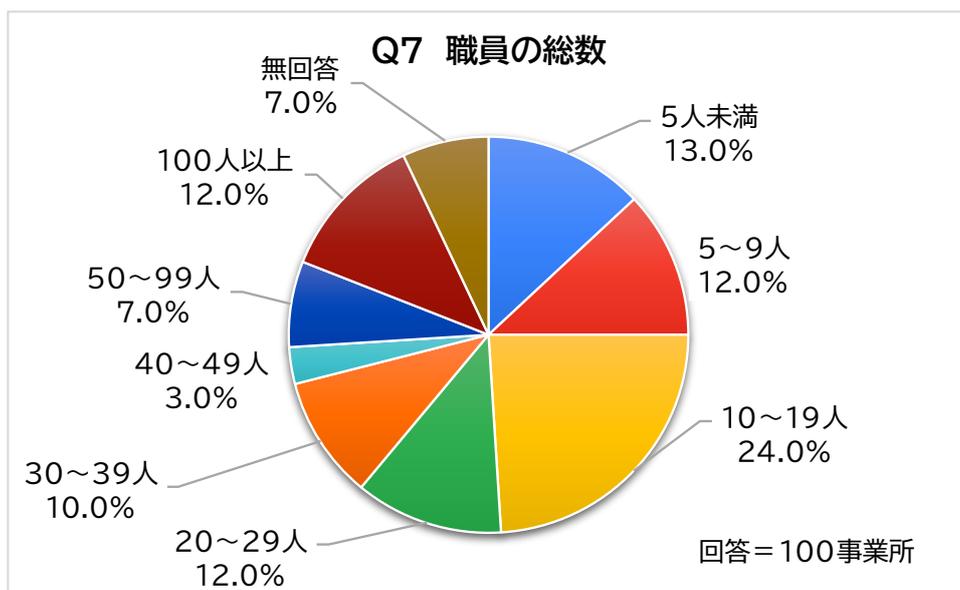
Q6 同一敷地内(※)の併設事業をすべてお答えください。



「その他」の具体的内容

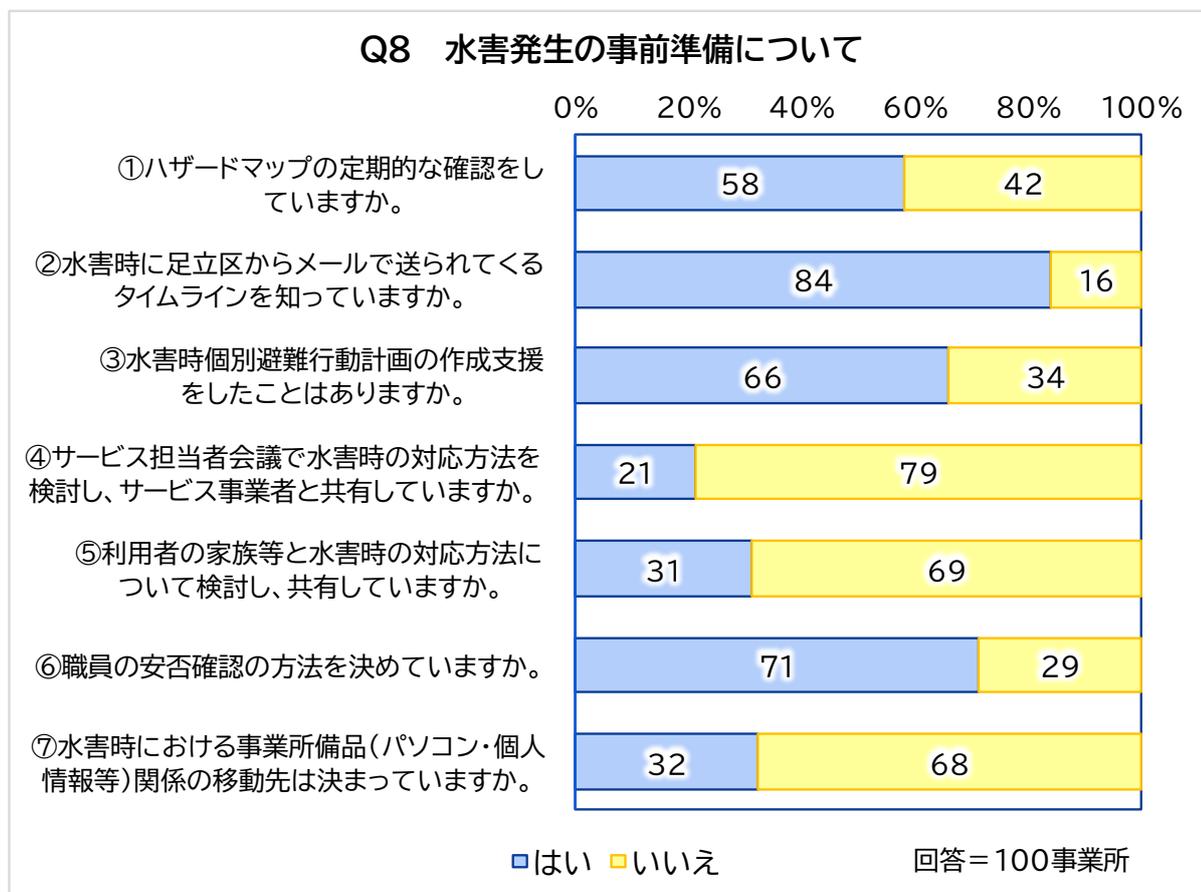
- ・サービス付き高齢者向け住宅
- ・介護タクシー
- ・児童デイサービス
- ・訪問リハビリ
- ・サービス付き高齢者住宅
- ・有料老人ホーム
- ・ケアハウス
- ・理容店・訪問理美容サービス
- ・訪問リハビリテーション

Q7 上記同一敷地内の併設事業を含む職員の総数はおおむね何人ですか。

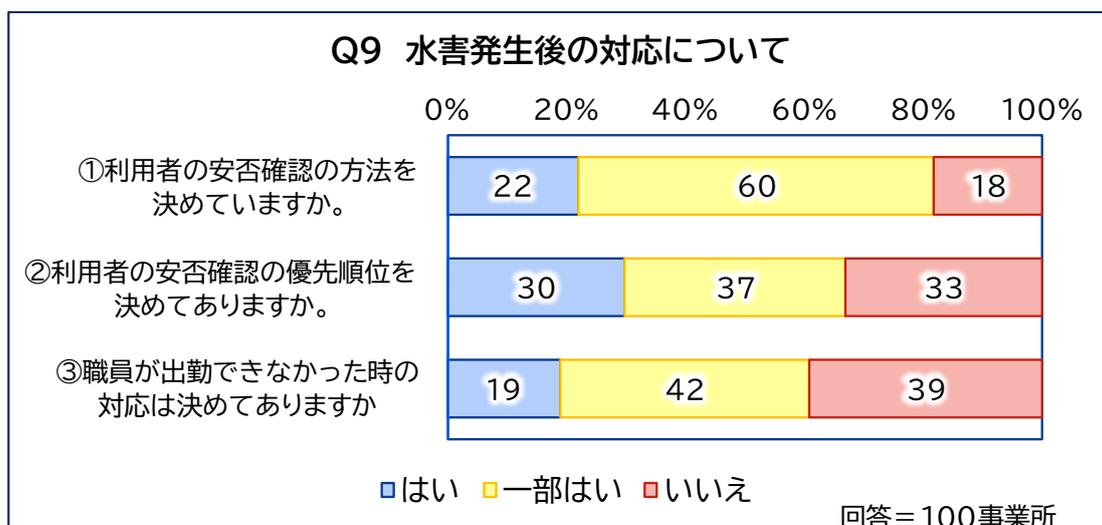


2 水害対策の周知度と貴事業所での取り組み

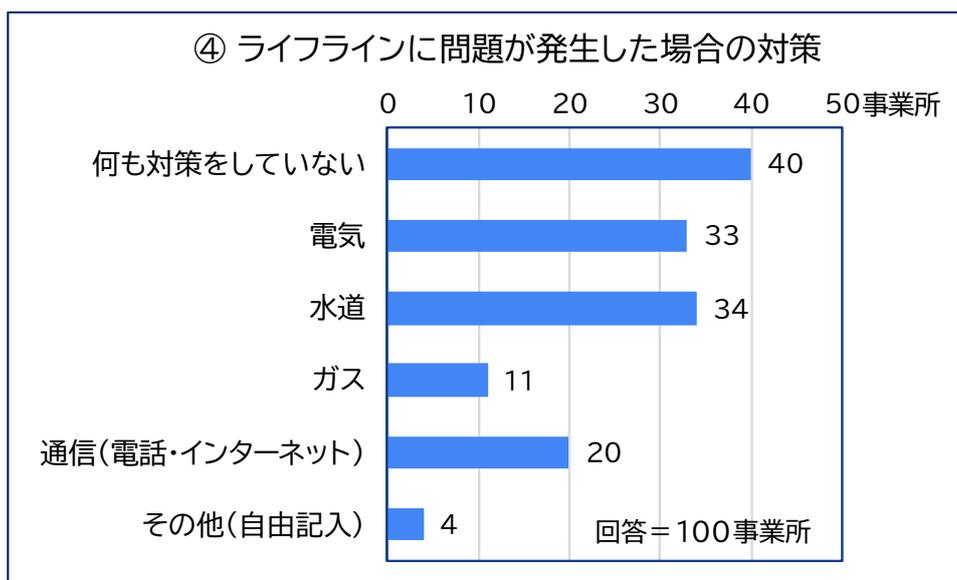
Q8 水害発生の事前準備についてうかがいます。



Q9 水害発生後の対応についてうかがいます。



④ライフラインに問題が発生した場合の対策はしていますか。

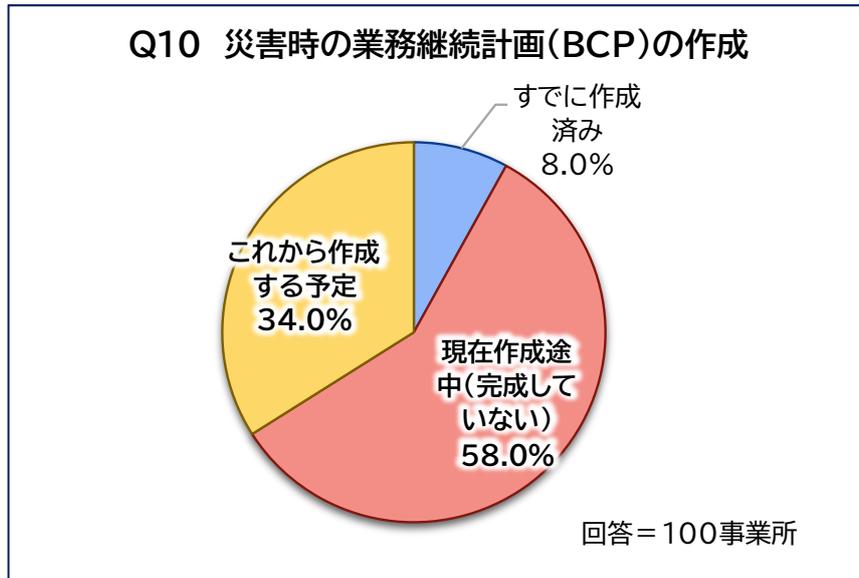


「その他」の具体的内容

- ・併設特養の対策を共有(自家発電・備蓄等)
- ・備蓄品はありますが、十分対応出来るものではありません
- ・法人に任せている。
- ・全ての通信が不能時は アマチュア無線 免許保持 無線局を開局しています。

3 災害時の業務継続計画(BCP)の作成・訓練等

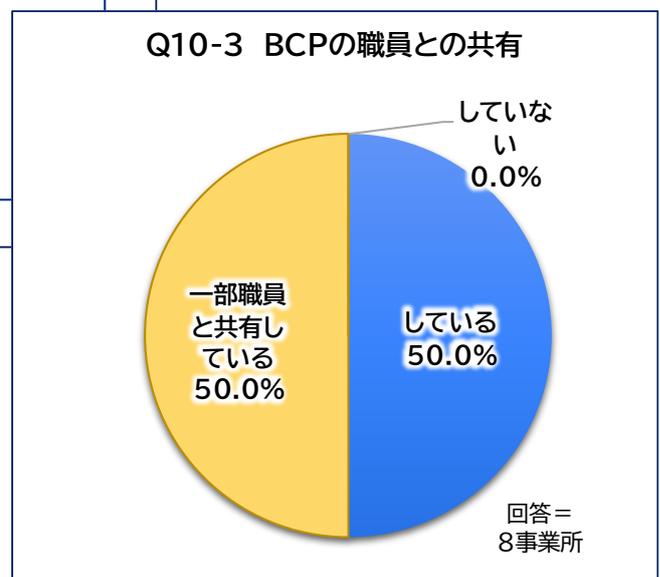
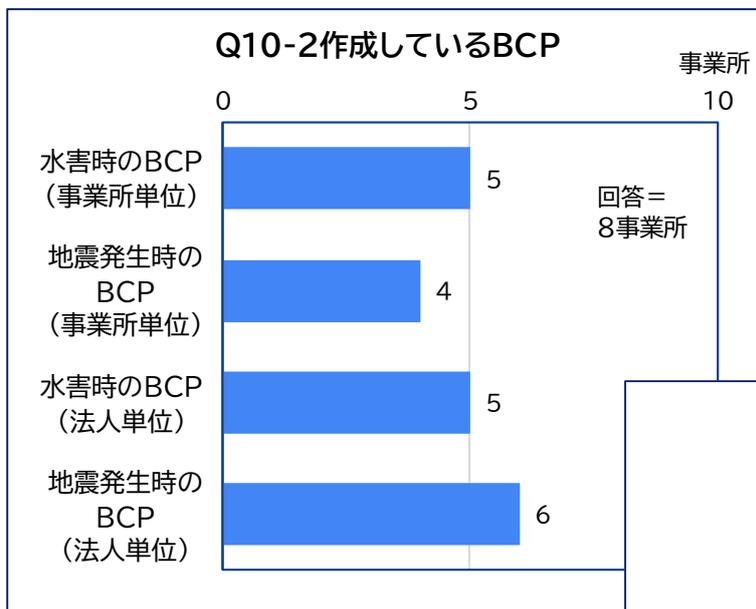
Q10 貴事業所では災害時の業務継続計画(BCP)の作成をしていますか。



【BCPを「すでに作成済み」と回答した事業所】

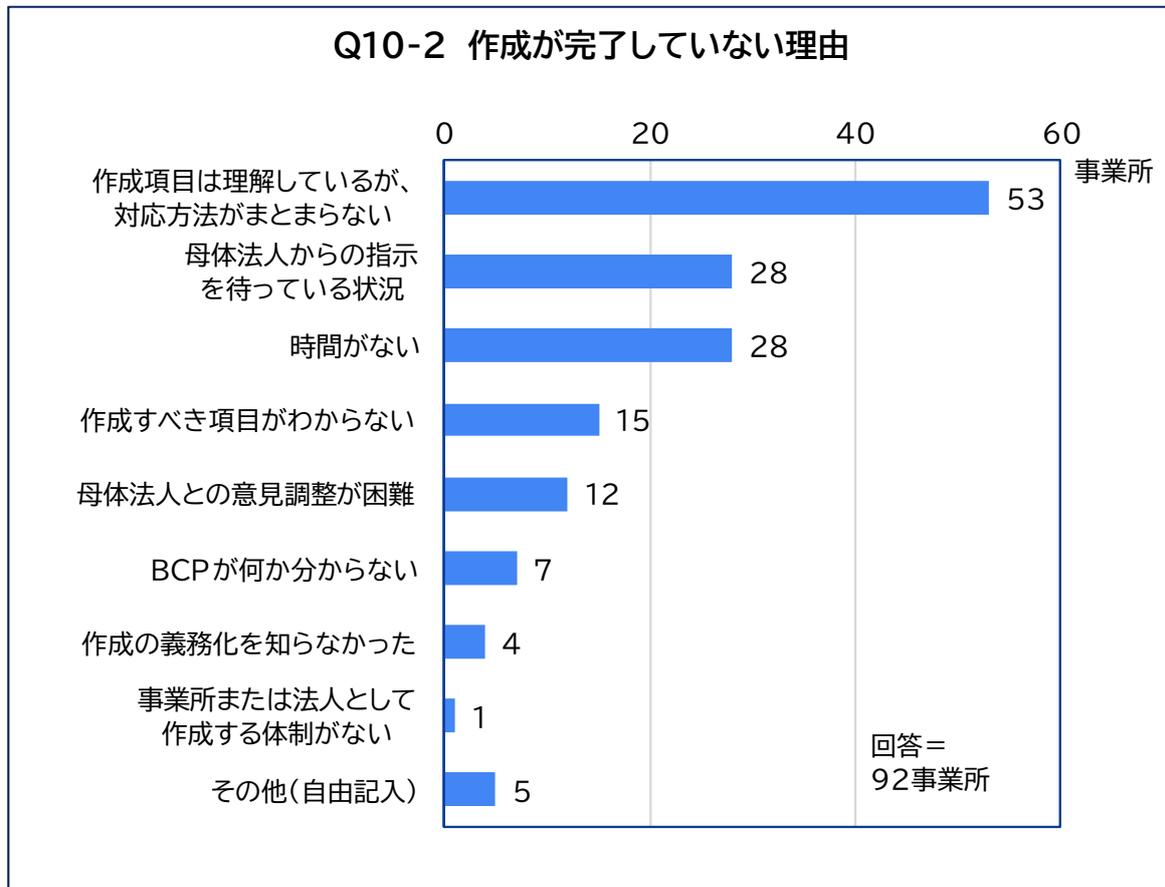
Q10-2 作成しているBCPをお答えください。

Q10-3 作成したBCPを職員と共有していますか。



【BCPを「現在作成途中(完成していない)」「これから作成する予定」と回答した事業所】

Q10-2 その理由をお答えください。

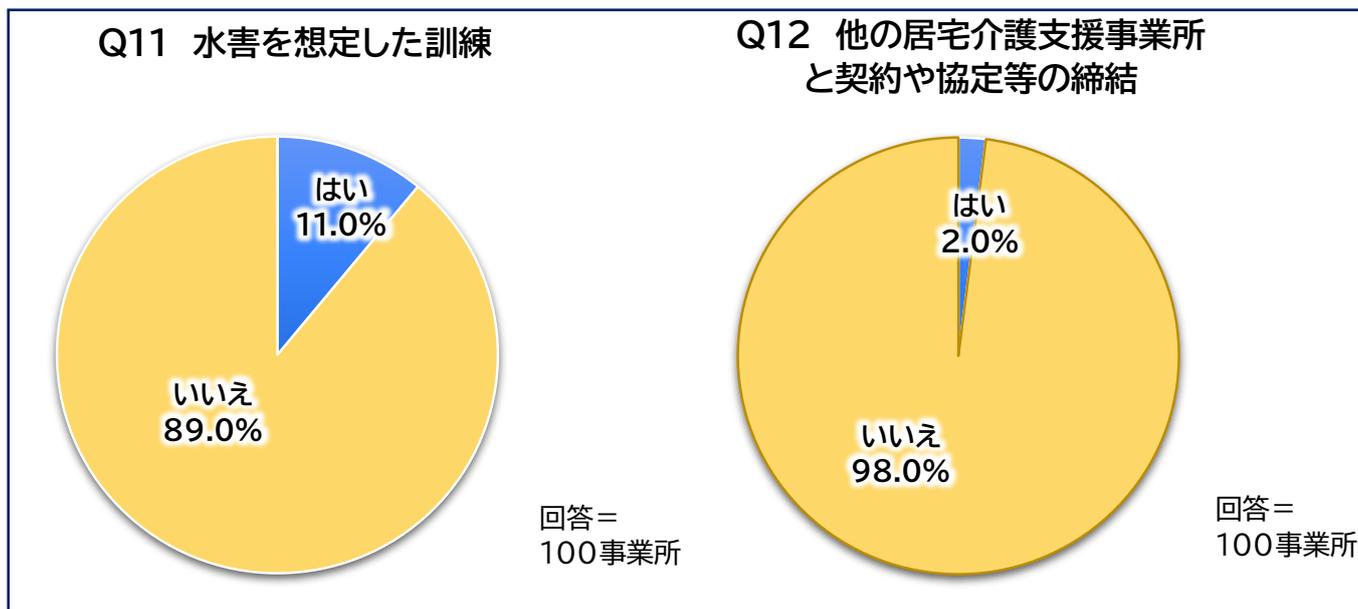


「その他」の具体的内容

- ・完成しているが、実用化の検討まで至らない
- ・雛形を見ると従業員に対する対応等が出てくるのですが、一人事業所なのですが、従業員を雇ったという想定で作るべきなのか、すべての担当が一人なので一人用で作っても良いのか判断がつかず、途中までしか作っていません。
- ・担当者に任せているが、これから作成するとの回答を得た
- ・近隣の同グループでの意思統一が未着手
- ・法人での作成内容を元に居宅介護支援事業所としての内容を補足すべきか検討予定。

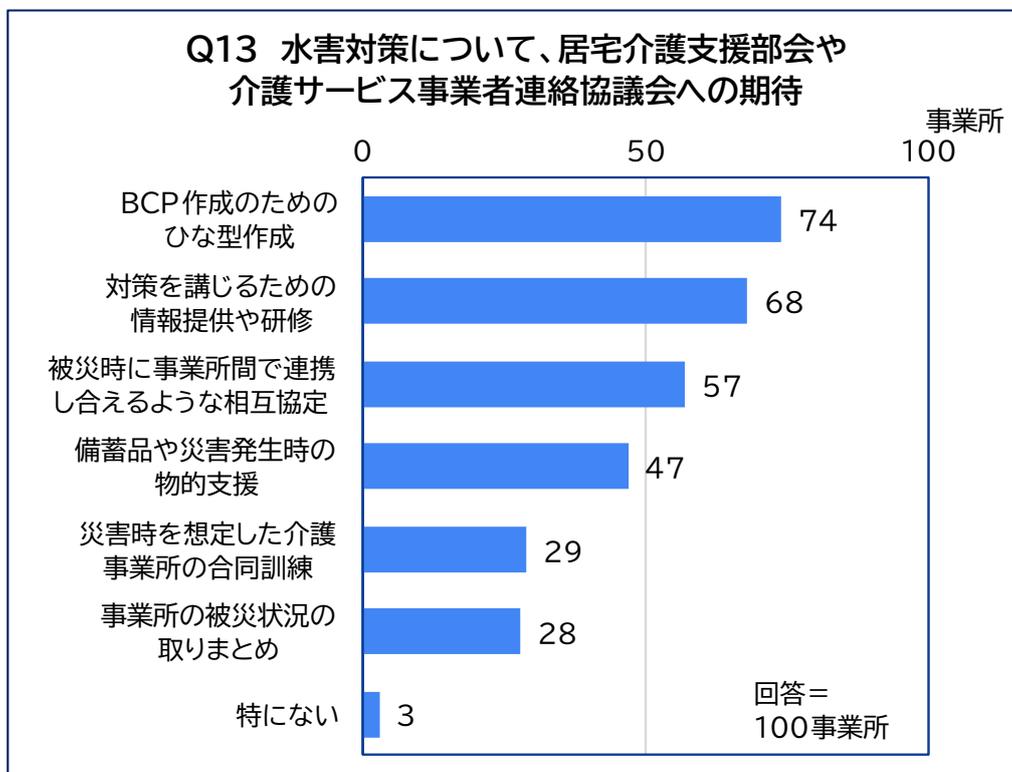
Q11 貴事業所で水害を想定した訓練をしていますか。

Q12 水害時に連携を取るために他の居宅介護支援事業所と契約や協定等を締結していますか。

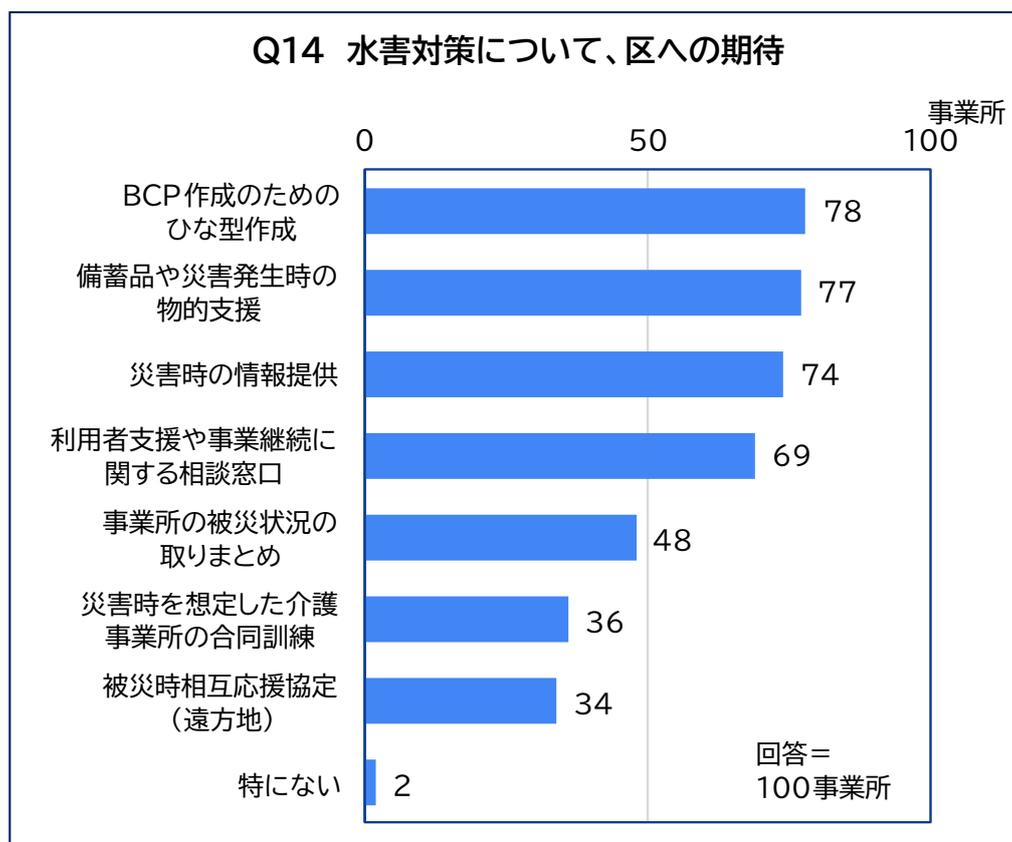


4 部会・区への要望

Q13 水害対策について、職能団体である居宅介護支援部会や介護サービス事業者連絡協議会に期待することがありましたら、お答えください。



Q14 水害対策について、区に期待することがありましたら、お答えください。



Q15 水害対策を講じる上での悩みや課題がありましたらご記入ください。

- ・ 1階の事業所のため、予備電気の避難場所が無い。
- ・ 5階に住んでいる透析患者の方が、個別避難計画の対象ではないと障害福祉の担当者に言われ、ケアマネジャーと相談するよう言われたそうです。事前に透析病院へ入院出来るよう確約欲しいと言われていました。いちケアマネジャーでは難しいです。
- ・ ケアマネ自体が水害にあった時の動きが予想できない。
- ・ コロナ感染を懸念して、施設内や地域住民との合同訓練が実施できなくなっている。
- ・ どのようにBCP作成の為にひな形作成したらよいかかわからない
- ・ ひな型があると作成しやすい。
- ・ まずは事業所の職員の安否確認をしてからではないと動けませんし、利用者の安否確認は家族とも話し合いをする。家族がいない人はどうするか、それからどのようにして良いかはわかりません。事業所では救助には行けないと思います。それをどの様にするのでしょうか。
- ・ 海拔0地帯なので、水で埋まるという想定をしての対策となると非常に厳しい。同グループのインターネットのサーバーがそもそも水害のおそれがある場所にあり、グループ内での対策ができていないのではないかとされる。
- ・ 居宅の場合の個々のライフライン対策は難しい
- ・ 港区は区がBCPのひな型を作成し、事業所での対応を入力、カスタマイズできるものを作成したと聞いている。足立区でもそうしてほしい。

- ・ 高齢者の避難について 連絡方法や避難場所が近くにあるか、徒歩で行けない人はどのように誰が非難させてくれるのか、地域の連携が出来る仕組みが知りたい
- ・ 自宅避難を確立するための十分な準備
- ・ 自分自身が被災者になる可能性が高いのでどこまで動けるのかが心配。代わりにやっていただけるところがあるのかどうか。それには他の居宅などとの連携が日頃から必要になる。
- ・ 小人数の単独居宅であり、業務継続のためには、まず第一に職員と職員家族の安全と無事が確保できることが第一前提となります。各マニュアル等にそうと、内容が莫大になってしまうが、色々なことを決めていくより、事業所規模に相応しい、必要最低限、必ず実行できるための現実的なBCPを作成できるようにする必要があります。
- ・ 職員の安全確保と利用者支援の両立の方法について具体案があれば教えてほしい。
- ・ 身近なないこともあり、対応の仕方がわかりにくい。BCP作成等簡易にしてほしい。
- ・ 水害に対して、何を備えるか正直なところわからない 地震はいいんでしょうか？また、実際はケアマネは何をすればいいのか、何を望まれているのか、わからない部分がある
- ・ 水害警報専門のアプリ等があったら便利だと思う。
- ・ 水害時に職員が出勤できない状況での対策が課題となっております。
- ・ 水害対策当日に職場にたどり着く手段。在宅で対応できる対策など
- ・ 他の事業所との提携の方法が解らない。
- ・ 避難所の開設を早く決定し情報提供してほしい。
- ・ 北千住は橋に囲まれている為、時間帯で出勤できず、脱出もできなくなる不安がある
- ・ 利用者の避難をだれが行うのか、どこに避難をすればよいのか